

私の学習法

飯田 良海

その1. 実際に行っていた勉強方法

正直、中学2年生の夏休み前までは、そんなに真面目な生徒ではなかったので、勉強もそれほどしていませんでした。テストの校内順位も、162人中128位ぐらいです。ホント、努力をせず、好きな陸上をばかりやっている生徒でした。そんな私の転機は、中学2年生の6月です。父親に、陸上のユニフォームからスパイクから何から何まで、すべて燃やされました。それまで何度か『勉強しろ！』と言われたことはありましたが、このときばかりは『マジだ！！』と思いました。そのころから『少し』気を入れ直し、勉強するようになりました。それでも、テストの順位は学年の真ん中ぐらいでした。

こんな私でも、中学3年生の頃はとりあえず一生懸命勉強しました。その中でハマった勉強法は、『答えから問題を考える』というものでした。よく赤い下敷きを使って、答えを隠しながら勉強をする人がいると思います。あの逆パターンです。答えから問題を考えるのです。私は地理や歴史が苦手でしたが、この勉強法を編み出したことで、グングン成績を伸ばすことができ、とりあえず社会では一桁順位に入ることができました。

その2. 金田一少年の事件簿＝『考える力』の源

私が小中学生の頃、KinKi Kidsの堂本剛主演で、『金田一少年の事件簿』が放送されていました。とてもおもしろく、当時は学校で『ジツちゃんの名にかけて！！』を連発していました。あまりにおもしろかったので、読書の時間に小説を読むようになりました。そして、犯人は誰なのかを『考える』ようになりました。当然、これまでの流れから推理をするんです。今になって思うと、以外と日常のこういうことから考える力が身についていたのだと感じます。

その3. 体育教官室

受験の際に、面接を実施している学校が多いです。私はとても面接が得意でした。きっと、人とコミュニケーションをとるのが好きだったからだと思います。高校生ときですが、私はいつも体育教官室にいました。先生たちの机の上を拭き、お茶を汲み、時には肩もみやマッサージ、購買に買い物にも行って、少しおこづかいをもらっていました。こうしていると、自然と大人との会話が身についていくんです。とても良い勉強でした。それと、不思議に体育の成績も上がっていました。

その4. 夢を持つ！

なんだかんだこれに限りますね！努力をする上で、欠かせないものです！